

令和 7 年 10 月 30 日

イカナゴ類夏眠場調査の結果について

(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

イカナゴ類の夏眠場と想定される下図の3海域において、2025年8月から10月に空釣り及びビームトロールで分布状況を調査しましたので、その結果をお知らせします。

調査を行った佐井村沖、むつ市大畑町沖、東通村尻労沖のすべての海域で、イカナゴ類の採捕はありませんでした。過去に、佐井村沖では1996年に空釣り調査で300個体、むつ市大畑町沖では2001年にビームトロール調査で340個体、東通村尻労沖では2016年に空釣り調査で59個体とまとまった採捕が見られましたが、直近5カ年（2021–2025年）の採捕個体数の平均は、佐井村沖の空釣り調査およびビームトロール調査で0個体、むつ市大畑町沖のビームトロール調査で0.2個体、東通村尻労沖の空釣り調査で0個体と、いずれの海域も分布は極めて少ない状況が続いていると考えられました。

当研究所では今後も資源動向のモニタリングを継続する予定です。漁業関係団体の皆様に於かれましては、引き続き本種の適切な資源管理に向けてご協力のほどよろしくお願ひします。

(担当：資源管理部)

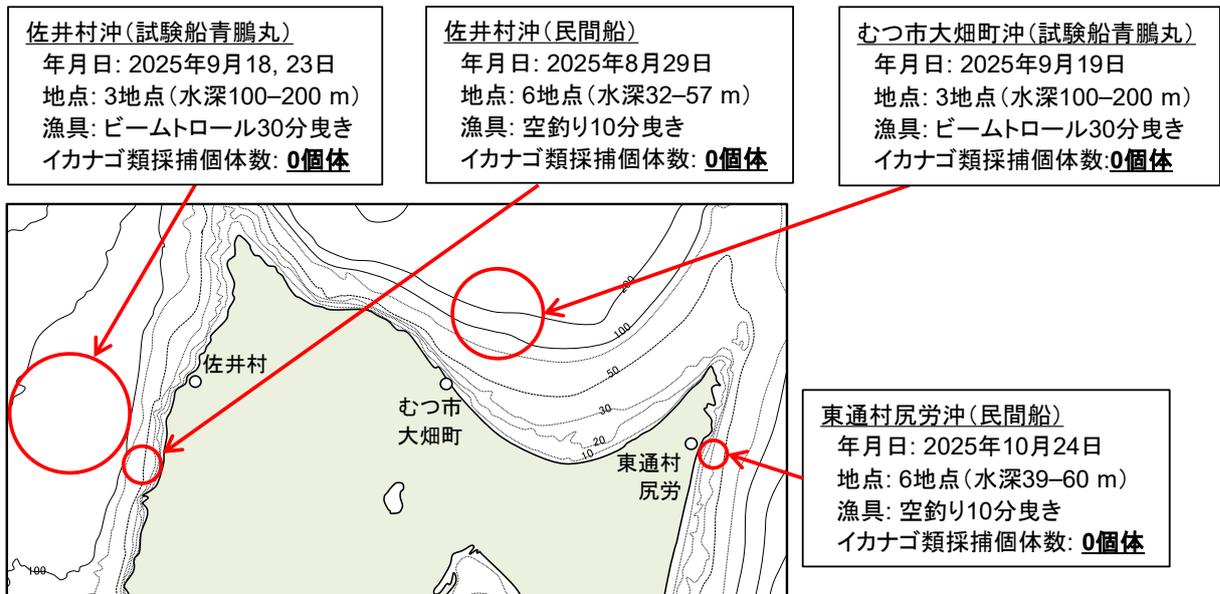


図. イカナゴ類夏眠場調査の結果